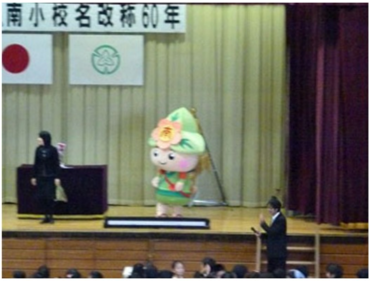
4.その他：所沢市立南小学校の校名改称６０年記念式典が行われました

投稿者：**totoro2** 投稿日時： 2013/11/23 (839 ヒット)

南小学校は、明治７年（１８７４年）に当時の荒幡村、久米村、北秋津村の民家や洋館で開校した国民学校が起源だそうです。明治２４年（１８９１年）に３村合併に伴い３校も合併し吾妻尋常小学校になり、後に所沢市立吾妻小学校になりました。更に昭和２８年（１９５３年）１１月２０日、所沢市立南小学校と改称しました。今年は２０１３年ですから、南小学校は人間の還暦を迎えたことになります。１１月２０日（水）、南小学校の「還暦」を祝う式典が学校の体育館で執り行われました。

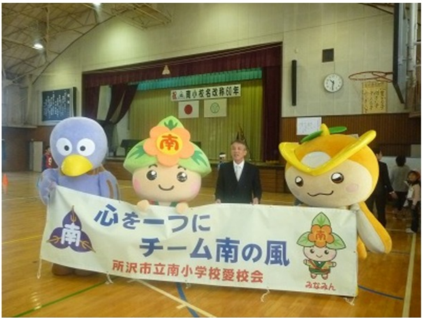
祝 南小校名改称60年

<挨拶する増田英明校長先生>



<壇上に現れた「みなみん」>

式典は大勢の来賓、児童、教職員が見守る中、９時から始まり厳かに進行していきましたが、９時半過ぎになって突然、所沢市のマスコット「トコろん」と県マスコットの「コバトン」が登場しました。それまで神妙におとなしく儀式に参列していた児童は「トコろん」を見て本来の子供に戻り、大歓声をあげました。子供たちの興奮が高まる中、何と、南小学校のマスコット「みなみん」が壇上に現れ、興奮は頂点に達しました。「みなみん」は着物を着て、南小の校章をデザインした帽子を被っていました。背中には所沢名物のお団子を背負っていました。「トコろん」に見劣りしない可愛らしいマスコットでした。


祝 南小校名改称60年
南
心を一つに
チーム南の風
所沢市立南小学校愛校会
みなみん

<増田校長先生と「コバトン」、「みなみん」、「トコろん」>

ゆるキャラ・マスコットで楽しい時間を過ごした後、校歌を斉唱し式典は終了しました。

南小学校は翌日より新しい歴史を刻み重ねていくわけですが、学校のますますの発展と、児童、教職員、ご父兄の皆様のご健勝を祈りつつ学校を後にしました。

所沢松が丘自治会　副会長　桑原洋二郎
（写真提供：五十嵐和彦教頭先生）

0コメント

4.その他 : 久米上組“陽だまりサロン”を訪問

投稿者 : **totoro2** 投稿日時 : 2013/11/23 (660 ヒット)

11月20日(水)は、秋の日差しが眩しい快晴のお天気。隣街、久米上組町内会の『お達者クラブ』では、3年も前から**男の料理**を続けている。“陽だまりサロン”に、飛び入り参加させて頂きました。

松が丘の街も高齢化は時の課題。こうした中で、前向きに取り組もうと、“松が丘みまもりボランティア”の品川代表他3名が、評判の高い**男の料理**を実演見学させて頂きました。

久米上組
お達者クラブ
陽だまりサロン

<久米上組“陽だまりサロン”>

会長の高柳さんからは、調理の手を緩めずに、**男の料理**は『メニューは皆で考え、頭を使い、手先を動かし、食材の匂いを嗅ぎ、味を確かめる。そして、美味しく出来た料理を皆さんと一緒に食べることで、喜びを感じ満足する。』とのお話をお聞きして、これぞ、今風の世情にぴったりと見

学者は大感激！！

<きのこ炊き込みご飯の準備(シメジを裂く会長)>

<男性ばかり１０人のスタッフが各持ち場で大奮闘>

参加者は、町内の紳士・淑女の皆さん２２人と吾妻地域包括支援センター３人、市保健センター健康づくり支援課５人が応援参加で健康維持の体験教室。

<とこしゃん体操と歯科衛生士による口腔機能向上の健康教室>

食材の調達・仕入れ、そして、調理のマル秘情報をこっそり紹介。　総勢４４人の会食会は、柔らかいお肉とごぼうのビーフシチュー等の美味しいお料理に笑顔が一杯。あっという間の”陽だまりサロン”はお腹も一杯。大満足！の一日でした。

＜今日の献立：京ごぼうのビーフシチュー、きのこ炊き込みご飯、長ネギの豆腐味噌汁、大根漬物、みかん＞

本日は、突然見学させて頂き、皆さんの笑顔とお元気を一杯頂戴できました。この盛り上がる熱意を『松が丘の街』でも、芽生え育てたく思いますので、今後とも宜しくご指導をお願いいたします。本日は本当にありがとうございました。

松が丘みまもりボランティア　副代表　藤原敏郎　記

0コメント

4.その他：吾妻地区の“もったいない市”が開催されました

投稿者：**totoro2** 投稿日時： 2013/11/20 (262 ヒット)

古着の再利用
もったいない市

１１月１７日(日)
吾妻地区の“もったいない市”が
開催されました。

毎月の資源回収で、古布・古着の回収はしていますが、もしかして他の方が再利用していただけるのだったら・・・と“もったいない市”へもってこられる方が大勢いらっしゃいました。

“もったいない市”と“陶磁器、古布・古着の回収”に参加された方は延べ２０３名でした。

<２０３名もの多くの参加者がありました>

当日は松が丘だけでなく所沢の各地からご覧になる方が多く、中央会館のまわりは車でいっぱいになりました。

陶磁器は、例年とても素敵なお皿やお茶のみセットなども出されるので、ぜひ一度みなさんご覧ください。

<“もったいない市”に出された古着>

<“もったいない市”に出された陶磁器>

お茶碗やお皿など欠けてしまっても簡単に粉砕物の日（燃やさないごみの日）に出さず、年２回開催される“もったいない市”を利用してください。

服の仕分けや陳列・運搬など、環境美化の班長さんが環境推進員として活躍していただきました。ごくろうさまでした。

環境美化担当　　松本　白井

0コメント

4.その他：南小学校運動会

投稿者：**totoro2** 投稿日時： 2013/11/07 (500 ヒット)

１０月１９日（土）、南小学校の運動会が開催されました。

今年は校名を現在の南小学校に改称してから６０年目という節目に当たる年だそうです。それに先立つ吾妻尋常小学校からすると実に１２２年目ということです。歴史ある小学校なのですね。

＜入場行進（先頭はバトンクラブ）＞

＜1年生の「げんきにパラリルラ」＞

当日はとても寒い日で、高齢者の私には堪えました。そのため、プログラムの変更があり、各学年の演技は午前中に行われました（競技は午後も行われました）。児童たちはそんな寒さの中で半そで・短パンでしたので大変だったと思うのですが、見ている限り、流石「風の子」、元気いっぱいに競技や演技に集中していました。８時４５分から入場行進が始まりましたが、バトンクラブが各チームの先頭でバトンを操りながら行進してきました。バトンガールというと高校生以上のイメージがありましたが、小柄な小学生も可愛らしくて結構見栄えがしました。

＜3年生の「花笠音頭」＞

＜4年生の「南小ソーラン」＞

競技については大体が見慣れたものですが、点数がつけられない演技・踊りには感心させられました。中でも山形の「花笠音頭」、沖縄の「エイサー」、北海道の「ソーラン節」等をアレンジした踊りは素晴らしい出来栄えでした。見たところ、全部ではないにしても衣装や持ち物などの一部は児童がそれぞれ作ったようでした（笠に付けた花、法被の模様など）。私は札幌出身なので「ソーラン節」の歌や踊りには馴染んでいたのですが、４年生の「南小ソーラン」には別の良さがありました。オリジナルにはない舟をこぐ仕草、艪（ろ）を押したり引いたりする動作が本当に艪を漕いでいるようで感心しました。法被（はっぴ）の模様は児童が自分で描いたようで、それぞれ個性があり出来合いの法被にはない良さを感じました。

＜5，６年生の「組体操／波」＞

５、６年生の「組立体操」も素晴らしい出来栄えでした。全体テーマ「受け継ごう！かけがえのない日本」の下に個別のテーマがあり、児童はそれに基づいて数人単位や十数人、数十人単位で演技をしました。全員で作った波は、その動きが大波そっくりで感動しました。最後は今年世界遺産に決まった富士山を全員で組み立てました。

所要があり午前中で退出させていただきましたが、南小学校らしい運動会を楽しませていただきました。時間をかけてご準備・指導された先生方、学校と一体となってバックアップされたご父兄・地域の皆様、そして元気いっぱい競技に演技に練習の成果を見せてくれた児童の皆さん、お疲れ様でした！　そして、ありがとうございました！！

所沢松が丘自治会　副会長　桑原洋二郎

0コメント

4.その他：松が丘クラブ「お月見の宴」

投稿者：**totoro2** 投稿日時： 2013/10/13 (412 ヒット)

１０月４日（金）松が丘クラブの「お月見の宴」が松が丘中央会館で開催されました。

５６名の会員が参加しました。最高齢者は９９歳、２丁目の鶴田百枝さんでした。

＜加田朝子さんとその作品（お月見の宴）＞

宴は儀式っぽい第１部と、歌や踊りなどを楽しむ第２部に分けて進められました。来賓として所沢松ヶ丘自治会の松本隆義・環境美化担当理事が、集団資源回収当日でお忙しかったにもかかわらずお出でくださいました。新入会員の紹介、各部からの報告・連絡に引き続き、今年９月に８１歳でお亡くなりになった１丁目の石井清明さんのご冥福をお祈りして黙祷を捧げました。その後、坂本直美常任委員の発声で乾杯しました。食事に移る前に８月、９月、１０月生まれの会員１２名に誕生祝い品の贈呈が行われました。

＜佐藤会長挨拶＞

＜来賓松本隆義自治会理事の挨拶＞

会場にはブルーシートを背景に大きな満月が見えるシーンが作られました。ススキもたくさん飾られ、さらに不要になった和室用の照明器具を活用したしたすばらしい飾りも置かれました（加田朝子常任委員作成）。誕生お祝い品贈呈のあとは祝宴に移り、それぞれの席で食事をしたり歓談に興じたりしました。祝宴の最後に「赤い羽根」の共同募金を募り、多くの会員の皆さんからご協力をいただきました。

<歓談する会員>

午後１時頃、布田尚子副会長の司会でお楽しみの第２部が始まりました。最初に恒例の「懐かしのメロディー」合唱で、「旅愁」、「赤とんぼ」、「鈴懸の径」を全員で歌いました。歌を歌い始めると皆さん若返ったような表情になるのが印象的でした。引き続き有志の方々による歌や踊り、余興に移りました。笙声会の三味線と歌、民謡愛好会の踊り、趣味の民謡の会の踊りを楽しんだ後、ふれ愛の会の皆さんが合唱を披露されました。余興では、歌に自信のある方、日頃よりカラオケを楽しんでいる皆さんが熱唱を繰り広げてくださいました。それぞれ素晴らしい歌いぶりでしたが、中でも９３歳の根岸雪子さんが歌った「涙の連絡船」は、声の艶、音程、声量、小節などとてもそのような年齢とは思えない歌唱でした。所沢市の高齢者歌謡大会で入賞したというのも納得できました。

<笙声会の三味線と歌>

<民謡愛好会の踊り>

＜趣味の民謡の会の踊り＞

＜根岸雪子さんの熱唱＞

＜ふれ愛の会の合唱＞

宴も終わりに近づき、「炭坑節」を皆で踊り、締めには全員輪になって「青い山脈」を歌いながら踊りました。正午から２時間余の楽しい宴でしたが、改めて会員の皆さんのパワーに感動させられました。

常任委員（広報担当）　桑原洋二郎